

Yamaha MOTIF XS Editor Standalone/VST V1.6.6 for Mac Release Notes

主なアップデートの内容

V1.6.5 → V1.6.6

- Cubase 8.5 シリーズに対応しました。
- Mac OS X 10.11 (El Capitan) に対応しました。
- Mac OS X 10.7 (Lion) は非対応になりました。

既知の問題

- エディターを再インストールした直後などに Cubase のメディアベイに MOTIF XS のボイスが表示されないことがあります。その場合は、メディアベイのブラウザー上で「更新」あるいは「再スキャン」を実行してください。
- Cubase のメディアベイから MOTIF XS のボイスを選び、Cubase にインストゥルメントトラックを作成してからエディターを起動すると、エディターが OFFLINE 状態で起動したり、Port Open Error が表示されることがあります。この場合、エディターの ONLINE/OFFLINE をクリックして ONLINE 状態にすることで、そのままお使いいただけます。

動作環境

NOTE

- ・ お使いのコンピューターによっては、下記の仕様以上の条件を必要とする場合があります。
- ・ 最新の OS 対応状況については以下の URL をご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/products/music-production/support/>

<http://download.yamaha.com/jp/>

OS	Mac OS X 10.8 / OS X 10.9 / OS X 10.10 / OS X 10.11
DAWアプリケーション	Cubase 7 シリーズ/Cubase 8 シリーズ
その他	対応DAWアプリケーションとOSの動作環境に準じます。

Mac OS10.8 以降をお使いの場合

アプリケーションのインストール/アンインストールを行なう場合は、「Apple メニュー」>「システム環境設定」>「セキュリティとプライバシー」>「一般」タブの「ダウンロードしたアプリケーションの実行許可」で Gatekeeper の設定画面を開き、「Mac App Store と確認済みの開発元からのアプリケーションを許可」に設定します。

NOTE

Gatekeeper がデフォルトのままになっている場合は設定を行なう必要はありません。

インストールについて

1. ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある以下のファイルをダブルクリックします。

Install MOTIF XS Editor Standalone_VST V1.6.6.pkg

2. 画面の指示に従ってインストールを実行します。

アンインストールについて

1. ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある以下のファイルをダブルクリックします。

Uninstall MOTIF XS Editor Standalone_VST.app

2. 画面の指示に従ってアンインストールを実行します。

更新履歴

V1.6.4 → V1.6.5

- Mac OS X 10.10 (Yosemite) に対応しました。
- Cubase 6 シリーズに非対応になりました。
- Mac OS X 10.6 (Snow Leopard) に非対応になりました。

V1.6.3 → V1.6.4

- マルチモニター環境でエディターを表示したとき、VCM エフェクトの画面が正しく表示されない問題を修正しました。
- 特定のマウスを使用した場合、ホイールでパラメーターが2ずつ変化する問題を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.6.2 → V1.6.3

- Cubase 7.5 シリーズに対応しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.6.0 → V1.6.2

- Mac OS X 10.9 (Mavericks) に対応しました。
- Mac OS X 10.5 (Leopard) および Cubase5 シリーズに非対応になりました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.5.1 → V1.6.0

- Mac OS X 10.8 (Mountain Lion)に対応しました。
- スタンドアローンでも起動できるようになりました。
- エディターと、Native Instruments 社の MASCHINE MK2/MASCHINE MIKRO MK2 を併用した場合に Cubase が強制終了する不具合を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.5.0 → V1.5.1

- Mac OS X 10.7 (Lion)に対応しました。
- アンインストーラーを追加しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.4.0 → V1.5.0

<機能追加/仕様変更>

- Cubase 6 シリーズ(64bit 版)に対応しました。
- Cubase 4 シリーズに非対応になりました。
- Mac OS X 10.4 (Tiger) に非対応になりました。
- Power PC に非対応になりました。

<問題の修正>

- エディターの画面をすばやく開閉すると、Cubase が強制終了される問題を修正しました。
- MOTIF XS の All ファイル(拡張子: X0A)をエディターから開くときに、Song select 画面で[Cancel]ボタンを押したら、インサクションエフェクトがすべてオフに設定される問題を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.3.0 → V1.4.0

<機能追加/仕様変更>

- Cubase 5.5 シリーズに対応しました。

<問題の修正>

- ファイルメニューから新規作成を選択後に上書き保存を選択すると、保存に失敗する場合がある問題を修正しました。
- エディターがオンライン(ONLINE) の状態でインポートの実行中にエディター画面を閉じると、Cubase が強制終了する問題を修正しました。
- エディター画面を開いた状態で MIDI データを再生すると、まれに Cubase が強制終了する問題を修正しました。
- Cubase のプロジェクトを開いたとき、エディターの VSTi 設定が復元されない場合がある問題を修正しました。
- エディターの起動画面で右クリックすると、以後右クリックメニューが表示されない問題を修正しました。
- エディターからモードを変更したとき、全体のボリュームが 0 になる場合がある問題を修正しました。

- 本体がサンプリングモードのときにエディターの[ONLINE]/[OFFLINE]を連続クリックすると、パラメーター操作ができなくなる問題を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.2.1 → V1.3.0

<機能追加/仕様変更>

- Mac OS X 10.6 (Snow Leopard) に対応しました。
- Cubase 5.1 シリーズに対応しました。
- Yamaha Steinberg FW Driver V1.5.0 に対応しました。
- エディターの起動時間が短縮されました。
- エディター上または Cubase のメディアベイ上で、ボイスデータの VST プリセットを呼び出した場合は、エディターの現在のモードまたは起動モードの設定に関わらず自動的にボイスモードに切り替わり、同時に本体もボイスモードに切り替わるようになりました。これによって、ボイスデータのより正確な再現をスピーディーに行なえます。

【注記】

上記の操作を行なった場合、エディターおよび MOTIF XS の編集集中のデータは自動的に消去されます。

<問題の修正>

- Cubase のバーチャルキーボードを使用すると音が鳴り続けることがある問題を修正しました。
- コンピューターと楽器本体を USB ケーブルで接続しているとき、エディターの MIDI 設定が正しいにもかかわらず、エディターが楽器本体と正しく通信ができないことがある問題を修正しました。
- 楽器本体がボイスモードではないとき、エディターでボイスモードのデータを読み込むと正しく同期されないことがある問題を修正しました。
- Cubase のメディアベイから MOTIF XS のボイスを頻繁に切り替えたとき、Cubase が強制終了することがある問題を修正しました。
- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.2.0 → V1.2.1

<機能追加/仕様変更>

- MOTIF XS6/MOTIF XS7/MOTIF XS8 本体のバージョン V1.50 に対応しました。
- エディター上のキーボードショートカット[コマンド]+[S]の操作によって、DAW のファイル保存ができるように変更しました。
- Cubase のインストゥルメントトラックやメディアベイからエディターを起動した場合は、Startup Mode(スタートアップモード)の設定にかかわらずボイスモードで起動するように変更しました。ただし、Auto Start(オートスタート)がオンの場合は、Auto Sync Setting(オートシンクセッティング)のカレントデータの設定によって、MOTIF XS 側の現在のモードと同じモードで起動します。

<問題の修正>

- その他軽微な問題を修正しました。

-

